

平成20年度(後期)市政懇談会「市長のいきいきタウントーク」で述べられたご意見・ご要望等とそれに対する市の回答の一部(要約)を紹介します。

Q 4m未満の道路については、4mや6mとかに道路を広げるために土地を提供しなければならないと聞いたが、どういときにそうなるのか教えていただきたい。また、そういうことを広報等で周知していただきたい。

A 例えば3mの道路に面した土地に建物を建てる場合、4mの幅員を確保しなければならない、センターバックと言って、道路の中心から2m後退しなければならない。市ではその部分を寄付ということで取扱いをさせていただいている。また、例えば6mに道路を広げる場合には、センターから2mの部分は寄付していただき、センターから2mを超える部分については市で買収する形となる。理解していただくために、できるだけ広報等でお知らせしていきたい。

Q 薬師川の桜並木の桜がだいぶ育ってきて、暗いという意見もあるが、歩道に桜の根がボコボコと出てきている。若いお母さんたちも多く、ベビーカーを押して歩くのに歩きにくいので、整備していただきたい。

A 直せるところは直している。地域の皆さんと相談して対処していきたい。

Q 道の駅はどのように進展しているか、市民に分かりやすく周知してもらいたい。

A 今年度、プロポーザルにより設計業者が決まった。来年度は詳細設計から建設に入っていく。言葉で言っても想像・イメージがつかないと思うので、できるだけ想像できるような感じで皆さんにお示しできればよいと思っている。

経営方式としては、第3セクター方式をやっていきながら、早く駅長さんを決めて、できるだけ市内の皆さんで、下野ブランドのものとかで活気のあるような場所にしたい。また、いろいろなイベントもできればよいと思っている。

Q 下野市でも急に職を失った人がいると思うが、その人たちへの対応で何かやっているものがあれば紹介してほしい。また、社会保険庁のシステムと同様に、ハローワークのシステムを市に取り込むということも考えてはどうか。

A 今のところ、派遣等の方々に対して対応するセクションというのはなく、地域のハローワークのほうでまだ大丈夫であろうと考えている。地域内の中小零細企業に対して、本市では、設備投資1千万円枠、運転資金1千万円枠ということで制度融資をもっていた。しかし、そのような形をとっていても、例えば100万円を借りていた場合には、それが完済しないと次に借りられない、残り900万円の枠が使えないという状況であったため、年明けすぐに、その部分も借り換えができるような体制をとった。その後の状況は、それほど多くの問い合わせがない状況である。

Q 自治会公民館は、老人会などでいろいろ催しがあるので、AEDを設置できないか。市でできないということであれば、自治会費で対応できないかということも考えている。AEDはいくらぐらいするのか。

A 20年度でAEDを23台購入し、その他3台を貸し出し用に計26台購入して、公共施設に設置した。21年度についても22~3台ほど設置予定である。地区公民館への設置については、具体的に計画はしていないが、スポーツ振興課に貸し出し用のAEDを3台用意してあるので、そちらでお借りいただければと思う。20年度は入札で購入したので、1台30万円代ぐらいで購入できたが、1台を個別で買うと50万円ぐらいするのではないかと。